

5-18

五一八

受信 〇〇一四八

了 〇三三〇

電 〇〇八七五九

作 機

緊急

無線電所用共通符號



天一號作戰部隊

機密第一七一九三一番電 二分ノ二

沖根聯合陣戰隊戰圖速報 第一號

十四日其ノ後判明セル被害戦死下士官兵九名傷下士官一兵三 十五日
 首里南方戰名附近及國場附近ニ各一個大隊ノ進出ヲ了ス那覇方面ヨリ
 浸透スル敵ニ對シ陸軍ニ協力陸軍ニ直接參加ス戦果戦等ナシ先ツ首里
 南方⁹田川方面ニ一箇大隊ノ進出ヲ了シ直接陸軍ニ參加ス尙追撃砲三
 〇〇〇發ヲ陸軍第一線ニ強行輸送ス戦果被害ナシ

通九七八三 呂一Bケ七(三七三〇) 沖根 東・片山(木 下)

5-18

五 一八 受信 〇〇五二 壽了 〇四四五 電 〇八八〇〇 作 概

宮古島警備隊

高 警 尸



機密第一七二〇三八番電

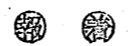
本日來襲機延五〇機（英國標識）〇八一八戰闘機七機一五四戰爆隊
一八機一四二六同二四機飛行場兵舎市街銃爆撃其ノ他〇六三五ヨリ艦
攻三機東方海岸ヲ一時間半ニ亘リ低空偵察戦果ナシ被害設備隊假兵舎
一機失。

海九八六四 天二五ヶ八 (四七〇五K) 高遠 岡野(三石)

5-18

1975

緊急



五基地航空部隊・南西空
五基地航空部隊飛行機配備基地

石垣航空基地

機密第一七二一四五番電 二分、一

石垣基地戰術概報(五月十七日)

一、〇六四〇一四四五、六、六 T B F I I . 一七 D I 三

四 一 一 計三四機來襲副滑走路ニ投擲(戰術概報ノ通)

三 副滑走路明石〇三〇〇修理完了

三 搭乗員確保有(實動)零戰三(三一)一(二)二機二(二)一(一)〇

一。電信課註、本電二分、二未送

通九九〇三 呂一B、十一(三七八二・五)KC(五)FQB放
丸山(飯田)

開始〇三〇〇

5-18

五
一
八
緊
急

受
信
始
〇〇二三五

了
〇七四五

〇八八六一

作
編



五基地航空部隊・南西艦空隊

石垣航空基地

五基地航空部隊臺灣方面飛行機配備基地

機密第一七二一四五番電二分ノ二

最近敵機來襲狀況

○六四〇ヨリ一〇三〇迄殆ど常時在空〇九〇〇頃第二波TBF1
一約二〇機殺到副滑走路ニ投彈一撃以テ超低空避退(電波探信儀
方位測定シ得ズ)爾後四機高度上空制壓ニ來襲最ハ日没前一時
間ニテ避退ス本日迄夜戦ノ來襲ナシ。

【電信課註 本電二分ノ一既配布】

通九八九三 呂一Bケ一(三七八二、五KO)五FGB放水木(瀧田)

5~18

通九九二一 呂一Bヶ七(七八七五KC) 一KGG放 清水(松井)

戦闘経報(五月十七日)
○六三〇ヨリ一八〇〇迄F六F八機F四U一〇機スピットファイヤ
四機TBF1一三三機PBM一機來襲滑走路被弾修理完了戦果撃破
TBF1一機。

機密第一七二三三五番電



● 鹿屋、小祿、新竹各航空基地
● 石垣航空基地

● 宮古航空基地

緊急 五一八 受信〇三五〇 譯始〇四二〇 譯了〇四四五 電〇八七九六 作編〇
航本

5-18

作戰特別要旨

開始 〇〇 四三 〇五

● 宮崎航空基地

● 美保航空基地

● 鹿屋航空基地



機密第一八〇一〇四番電

通信者 四〇六飛行隊長

通報 〇〇 指揮官

七六二部隊通信令作第四七號

一 〇 〇 〇 通信令作第三四號ニ依ル沖繩周邊敵艦船攻撃ハ銀河雷艇隊

百攻七〇二半兵力七〇九八〇重爆隊交互隔日可動全力ヲ以テ續行ノ

穩定ニ村各隊ハ極力攻撃參加機ヲ警備ニ務ムルト共ニ搭乗員ノ戦力

恢復實効機數ノ増加ヲ期スベシ

三 特令無キ限リ右作戰準備兵力ハ毎日一六〇〇頃迄宮崎ニ進出スベシ

九 九 四五 一六一六 (七八七五知) 一五〇〇放 山 本(春日)

5-18 626T



航空母艦毒沈

〇二二〇

（直通註 本電既ニ停止シアル多八一ヲ使用シアルニ付同文ニテ
調査ノ爲遲延ス）

通九九六一 多八一（七八七五KC）一KFGB放 山崎（松山）

五一八 受信 〇三二五
開始 〇三二六

了〇六二七 電〇八八五二 作 概

一機動基地航空部隊九三一部隊
攻撃隊三小隊一機

七六二部隊戰團機第一〇號(五月十八日)
沖繩周邊敵艦機攻撃

一、五四〇六五〇一銀河三機一九三五 七、重機三機一九三〇宮崎基
地發進銀河一機二三〇五地點リヘニキニ於テ巡洋艦ノ算大ナルヲ雷
撃ヲ沈路確實一機二三〇四〇地點下二四五ニ於テ戰艦ニ對シ突撃セル

● 彈屏開カズ攻撃斷念ス一機二〇二一以後感取ナシ
● 電信機註 本電二分ノ二未着
通九九五三 呂一〇ケ七(七八七五) 一KFGB放野村(久保田)

作戰緊急

受信 〇〇六〇五 開丁 〇七三〇 電 〇八八六三 航作 本機 〇



● 鹿屋空基地
● 天航空部隊戰團機報着信機所

● 宮崎空基地

機第一八〇三〇一香電 二分ノ一



CHHO.
山崎(久保田)

5-18

⊗ ~~宮崎~~ 航空基地

作戰特別緊急

● 鹿屋空基地

● 天航空部隊戦闘機整備信艦所

機密第 一八〇三〇一 番電

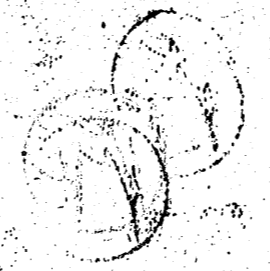
二分ノ二

七F重爆二機二二一五一二二二〇北中飛行場照度附近燃着、爲目
撃発見ヒズ一機發動機故障、爲夫夫引返ス〇一三五迄二銀河二機
重爆撃機三機宮崎着
マ〇一二〇銀河一機未歸還一機破損。

（電信課註、本電二分ノ一既配布）

通九九五八 呂一B々七（七八七五K）一KFG放藤井（飯田）

● 宮崎航空基地



十八日

Vertical text on the right page, possibly a list or report, including names like 藤井 and 飯田.

五 一八 作戦緊急

受信一三二四五

一四三〇

電〇九〇二五〇九〇二六

航作 本〇



天作戦部隊作戦命令着信艦所
通信文内容表示作戦關係重要電報

機密第一八一〇二四番南 二分ノ二

T B B 信電令作第四一號

明十九日第六航空軍第八次薄暮總攻撃ニ協同沖繩周邊艦艇攻撃ヲ
決行各隊ハ左ニ依リ作戦スヘシ

一 二二〇三部隊。七二二部隊制空隊約三〇機二〇三部隊指揮官所定

ニ依リ列島線並ニ沖繩北端附近制空(沖繩北端到着一六三〇)

二 七〇一部隊九九式艦爆託問航空隊水偵特攻隊刀一九〇〇頃沖繩

泊地艦船攻撃

三 一七一部隊ハ一六三〇頃久米島南方六〇哩附近ニ艦隊攻撃
與夜間以艦隊ハ既令遊

一〇一〇四 呂一八七(七八七五七)一KFCB放土田(曳川)

5-18

五一八

受信 一四三〇一

譯了 一六三〇

電自 〇〇九〇六三

參作 本概

作戰緊急

臺灣航空隊

五基地航空部隊指揮官

五基地航空部隊戰術概報着信處所

機密第一八一〇五〇番

三分ノ一三三



新竹攻擊部隊戰術概報（五月十七日及五月十六日訂正）

「天山二機一六五三及一七三三沖繩艦船攻撃ノ爲發進一機二〇三三」

「連塗後連絡ナク現在迄消息不明ナリ一九四五渡名喜島南約五哩於

テ大型艦種不詳一隻撃命中撃沈確實宜蘭經由十八日〇六一五歸着

尙右時刻前後ニ於ケル敵電話傍受ニ依レバ「ダムサント」ナル呼出

通 一〇〇一三二
一〇〇一五三
一〇〇一六四

呂一Bケ七）一一三四七、五B（五FGB放

伊藤 小田切 藤山 田中

符號ノ一艦(五月九日ヨリ交話系ニ出現セル母艦ト推定セラレル艦
 所トノ交話活潑ニシテ相當有力ナル艦所ト推定)攻撃ヲ受ケタリ
 他ノ一艦ヨリ報ジ、後同艦ノ消息ヲ問ヒ交話數同行ハレ右時刻以後
 「ダムサナイト」ハ全然出現セズ
 十六日特攻隊艦隊出發消息不明ノ彗星中一機ハ波照間島ニ不時着
 搭乗員無事ニシテ降下判明セリ。

五八
 作戦緊急
 開始一三三二〇〇
 終了一三三三七
 小麻航空基地
 本



天一號作戦部隊
 機密第一八一二〇一番電

設 聯合艦隊參謀

小麻飛行場西方二軒リーフ附近ニ霧中ヨリ艦一隻ノ上敵機
 作業中ナルヲ發見他艦忽チ命中大爆發無煙ヲ上ケ猛烈ニ炎土中ニ機
 體ノ爲沈マセ(一一〇〇)。

連一〇一四二二 於一六八七八一五九(一) KFGB放 安彦(長岡)



5-19

作戰緊急

設信 005003

了 0630

電 09336

參作本艦

小祿航空基地



鹿屋航空基地
〔通報表示〕 五基地航空部隊指揮官
機密第一八二二〇一番電

聯合艦隊參謀

一〇〇小祿西方リーフニ於テ驅逐艦一隻ヲ爆シタル頃友軍機ノ攻
撃ニヨリ渡嘉敷島ノ北端附近ニ於テ驅逐艦一隻沈戦艦又ハ巡洋艦一
隻ヲ炎上舟艇多數救援中(一三五〇頃殆ド船體ハ見エズ)更ニ沖繩島
南端沖合ニ於テ驅逐艦一隻沈其ノ時友軍機二機認ム。

一〇五二六

於一六(四七四三五)五A B P 阿部(小幡)

五一八 受信一六二八〇 譯了一七一八 電〇九〇六八 作本

緊急

種ヶ島空



一機動基地航空部隊

機密第一八一五〇二番電

種子島基地戰聞速報 (五月十八日)

一三四二グラマン F六 F四三機來襲主トシテ飛行場兵舎内ニ燒夷彈

投下一三五〇南方ニ墜退

一戰果ナシ

ニ被害兵舎及地上建築物殆ド炎上

三飛行場使用差支ナシ。

通一〇二四三 於十六 (七八七五) 一KFGB放 山本 (川崎)

五 一八 受信一八三〇七 傳了一九三五 電〇九一一四 本機〇

緊急

小祿航空基地

傍

天一號作戰部隊

機密第一八一五四三番電

發 G P 參謀

午前霧晴タルモ依然トシテ視界悪ク一三〇〇ヨリ一五〇〇迄ノ狀況綜合
シヨ三ノメリーランド型 ニュー・メキシコ型 テキサス型(〇二〇五
其ノ他視認シ得ズ。

通一〇二六七 呂一Bケ七(七七八七五) 一RFGB放 村尾(新井)

五一八 開始二〇二三 終了二二一六 至〇九一九二 參作本

至急

天航空部隊戦闘概報着信艦所

無線艦所用共通符號



機密第一八一五五三番電 三分ノ二、三

天航空部隊戦闘概報(十八日一六〇〇)

一十七日夜間銀河六機重爆三機天山四機泊地艦船攻撃陸攻二機飛行場
攻撃ヲ實施銀河一機二三〇五伊江島北東一五連ニテ巡洋艦ヲ雷撃撃
沈一確實一機二二四〇殘波岬西一〇連ニテ戰艦ニ突撃ヒルモ彈扉
開カズ不投下一機二〇二一以後感度ナシ銀河三機煙幕中ノ目標ニ爆
撃ヒシモ效果不明重爆北中飛行場沖附近ニ至ルモ煙幕ノ爲目標發見
ヒズ天山一機二二三糸滿沖以越若ハ大巡ヲ雷撃大水柱ヲ確認歸
途沖繩陸上飛行場方面ニ大火災ヲ確認他ノ三機ハ〇一〇頃連絡絶
ト未歸還〇三二〇北飛行場爆撃一箇所炎上

通二〇二八〇・二〇二九〇 呂一〇七(七八七五)一(一) 加藤(徳田)

二十七日二一〇頃小型飛行機一機鹿屋地區ニ來襲照明彈投下及銃
 撃ヒルモ被害ナシ
 三十八日午前巖久島方面「グラマン」數機來襲ヒルモ避退方向ヨリ
 空母ヨリ發進ヒル疑アルヲ以テ(脱)頃南方六〇度附近索以ル
 モ敵ヲ見ズ。

飛船二〇四九

開丁二二三九

電〇九一八六

作機本〇

緊急



● 喜界島守備隊
 ● 大島防備隊

機密第一八一六二七番電

通報 タマ四〇部隊

一 諸情報ヲ綜合スルニ既報ノ如ク敵RFB及攻撃部隊當方面近海策動
 中ナルコト確實ナリ
 二 本日當方面ニ對スル特異ナル空襲狀況ニ鑑ミ敵ノ今次上陸地點ハ當
 方面ナル算極メテ濃厚ナリ
 三 各隊ハ豫定ノ邀撃態勢ノ完成ヲ急グト共ニ所要ノ地點ニ哨兵ヲ配シ
 海面ノ見張ヲ嚴ニシ敵ノ奇襲上陸ヲ致サレザル如ク嚴重ナル警戒ヲ
 要ス。

通一〇三八八 於一六(七八七五)KC(一)K FGB放小林(半)澤)



東通。佐 通。鹿屋航空基地

機密第一八一七二一番電 四分ノ三

着信者 白石魚雷隊司令 鶴田 龍 隊長 豊守 震洋隊長
十六日 殘存兵力 爆破魚雷艇隊五分ノ四 吹 龍 隊三分ノ一 其ノ他不明ニレテ
各隊機ヲ見テ 沖根司令部ニ合同機分散シ 敵中突破ノ機ヲ伺ヒ ツツアリ判
明ナル現所在兵力 恩納 菱約五〇 大浦見張所約三〇 久保 岳約一〇〇。

(東通註 本電誤字多ク遅延)

(電信課註 本電四分ノ一四 既配布四分ノ二未着)

通一〇四三七 呂一〇七七 (三七三〇) 沖根 新 倉 (小 幡)

五 一八 敵艦二〇九五五 歸了二〇三七 〇九一七四 本

緊 急 一機爲基地航空部隊 喜界航空基地



大島防備隊

機密第一八一七三〇番電 二分ノ二

一、本日ノ來襲狀況〇六二七ヨリ哨戒開始爾後P六F又ハP四F一二
機程度殆ド常時在空中投擲セルモノ午前二四機午後三二機目標ハ主
トシテ高角砲機銃陣地及飛行場周邊部落ナリ

二、右ノ他PMM一機一〇四五ヨリ一〇〇迄P一三八 一機一一四
五ヨリ一二一六迄P一三八 二機一四三〇ヨリ一五三〇迄在空中敵
ハ數日前ヨリ當方面ニ對シPBM及P一三八ニ依ル哨戒開始セル
モノノ如シ尙最近一七三〇頃ヨリ一九三〇頃迄ノ間敵機ヲ見ザル
ヲ例トス

三、機銃被破一機被害ナシ 滑走路長サ一二五〇米幅一〇〇米使用可
道一〇三二四・一〇三五八 オ一六(七八七五吧)一KFGB 森津・横井(本 田)